

Editor's Note

皆様のご協力をいただき、『現代ディスクロージャー研究』第16号をお届けできることになりました。『現代ディスクロージャー研究』は、歴代の会長、理事、編集委員長、会員の皆様のご多大なご尽力により、ディスクロージャー研究の領域では、日本において自他ともに認めるトップジャーナルの一つとなっています。これまでの編集委員長のご努力のうえに成り立つ本誌の品質を維持向上することを責務として、この1年間、編集委員長を務めさせていただきました。

本号においては、論文セッションに4本の投稿があり、厳正な審査の結果、2本が採択されました(次ページの編集データ参照)。

1本目の論文は、ライバル企業が参入してくる可能性がある状況において、生産計画に関して事前に公表すること(プレアナウンスメント)の戦略的な影響について検討する研究です。本誌ではこれまで相対的に少ない分析的なアプローチによる研究です。

2本目の論文は、連結子会社の利益を調整することを通じた連結上の利益に対する利益マネジメントの実態と影響要因を解明しようとする研究です。これまであまり研究されてこなかったテーマを実証的なアプローチで分析しています。

いずれの論文も、本誌が投稿に際して字数制限をつけていないことによって、オリジナリティの高い研究テーマについて十分に展開され、さらに、査読者によるコメントを適切に反映できていることは、特筆に値すると思います。十分な紙幅をとって完成度の高い論文の掲載を今後も継続する予定です。

最後になりましたが、査読をご快諾いただき、本誌の研究水準の向上に貢献していただいた査読委員の皆様にあらためて感謝いたします。また、編集委員長を支えていただいた、編集委員の皆様衷心より御礼申し上げます。

『現代ディスクロージャー研究』編集委員長
奥村雅史

編集データ

『現代ディスクロージャー研究』第16号の編集状況は、次のとおりである。全ての原稿は、編集委員会が採否を決定した。また、論文セッションの原稿は、複数の匿名査読委員によってレビューされている。

論文セッション

受付数	4
受理数（採択率）	2（50%）

編集委員会

謝 辞

査読委員による真摯なレビューによって、本誌の高い品質が確保されました。編集委員会は、ここに記して、第16号の査読委員の皆様へ感謝の意を表します。

薄井 彰 早稲田大学
太田 浩司 関西大学
太田 康広 慶応義塾大学
金 鉉玉 東京経済大学
中野 誠 一橋大学
松田 康弘 東北大学
吉田 靖 東京経済大学
(敬称略、五十音順)

編集委員会